

アンパンマン フラッシュフィーバーパチンコDX



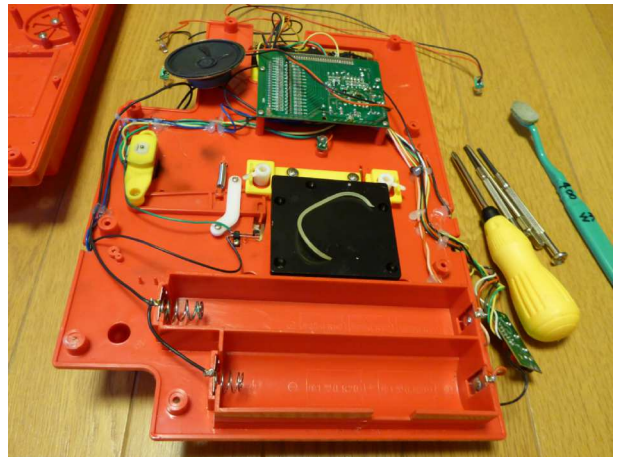
アンパンマン フラッシュフィーバーパチンコDX
EAN:4971404294776
H25年7月28日の上越おもちゃ病院で受付



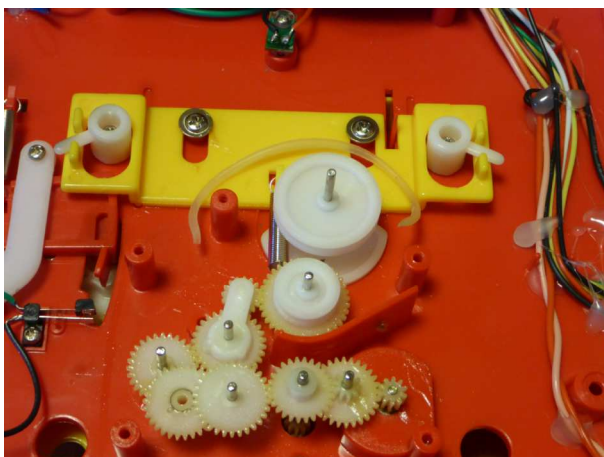
「打ち出したパチンコ玉が途中までしか上がらない」原因は、パチンコ台裏面のストッパーが掛かっていたため故障ではなかった。球の打ち出し部も異常ありません。



フィーバーしてもセンターの窓が開かないため、分解点検してみる。まず表側から枠を外してみたが、特に異常なし。



裏側の電池BOXの周囲から裏枠全体を外してみると、ここで故障原因を発見！！ゴムベルトらしき紐状の部品が、なぜか、引っ張られたような状態で切れていた。

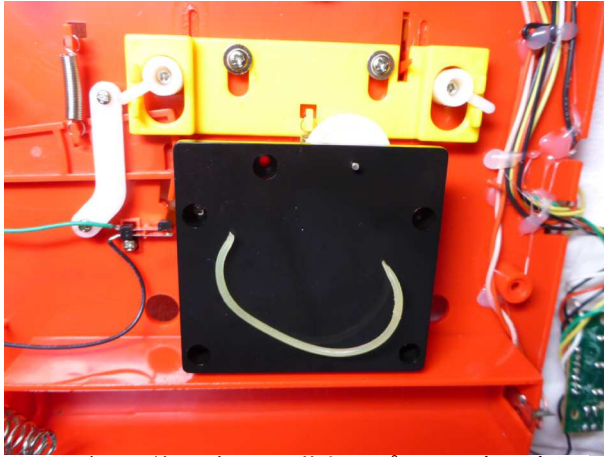


ギヤBOXの四角い黒色カバーを外し点検すると、上部の大きな白いプーリーとその下の小さなプーリーを運動させるゴムベルトが切れていることが判明。手元に正規部品が無いため、メーカーに相談してみる。

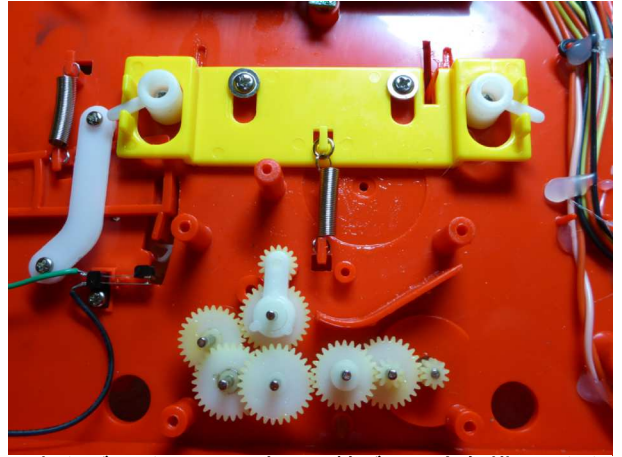


このような普通の輪ゴムでは柔らかすぎて、動力を伝達する前にゴムだけが伸びてしまうようである。少し大きめの輪ゴムを二重にして、かろうじて動くようになった。

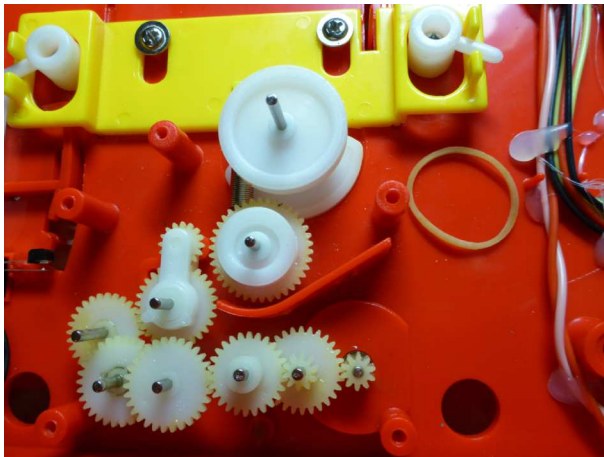
アンパンマン フラッシュフィーバーパチンコDX



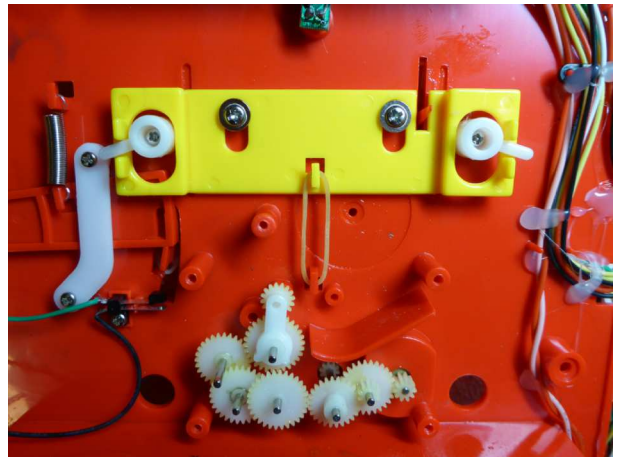
フィーバーの終了時、この黄色いプレートが下がることで、センターの窓が閉じる仕組みであるが、そのための引きバネの張力が強すぎてゴムベルトに無理な力が加わったのではないかと推測される。



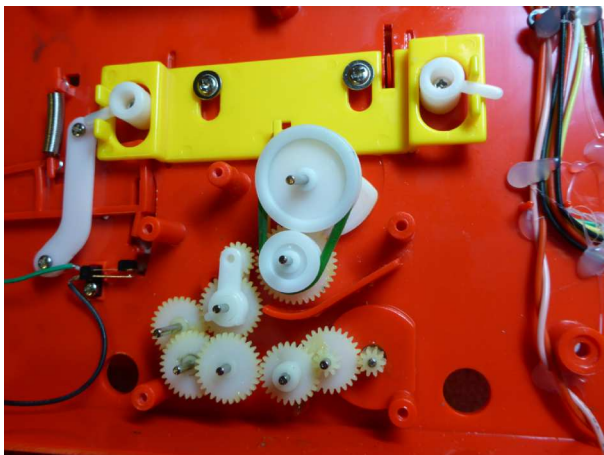
切れたゴムベルトの代わりに輪ゴムで応急措置したため、真ん中の引きバネの力に負けてしまって、フィーバーの開始時に黄色プレートが上に動けない。引きバネに工夫をして張力を弱めてみた。



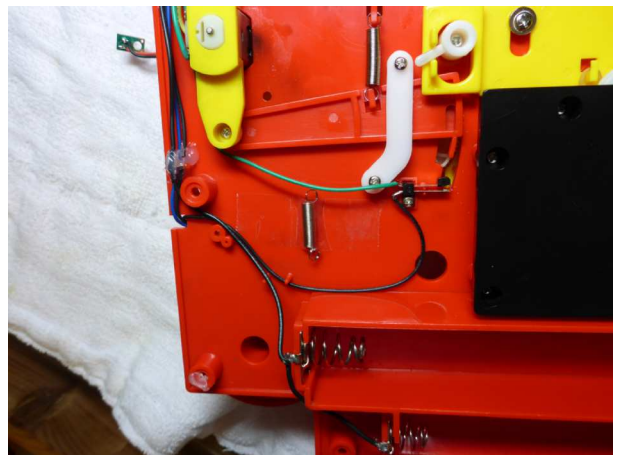
この状態でも他のギヤに影響を与えないことを確認。そこで、組み立てて輪ゴムをベルト代わりにしてみたが、まだ引きバネの張力の方がかなり強く、不具合は解消しなかった。



やむなく、小さな輪ゴムで本当にごく軽く引っ掛けることで、黄色プレートが上まで上がりフィーバーの際のセンター窓の開閉が上手く出来るように改善した。微妙な力加減のため、あくまで応急措置である。



このように、白いプーリー間には輪ゴムの二重掛けで対応したが、使用時間の経過や温度変化により、近いうちに必ず輪ゴムは切れてしまうでしょう。その際には、正規部品による交換修理が必要。



この応急措置で、しばらく(輪ゴムが切れるまで)の間は、思う存分に遊んでいただき、また不具合になった際は、ご遠慮なくお申し付けください。メーカーサポートからは「この旧型機種は販売終了して、保守部品も在庫ありません。」との回答あり。

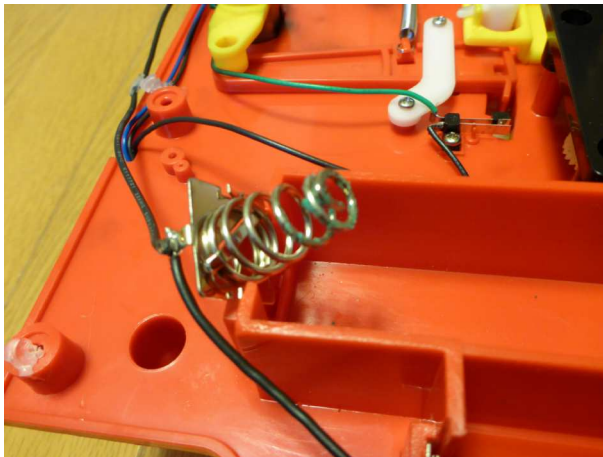
アンパンマン フラッシュフィーバーパチンコDX



翌々日に、メーカーサポートから「正規部品ではないが、似たような形状のゴムベルトがあったので、代替品としてお送りします。」と、3本のゴムベルトが送られてきました。誠意あるメーカーの対応に感激！



故障原因の切れたゴムベルトをセロテープで仮止めして、メーカーから送ってもらった3本のゴムベルトを比較してみたが、大きすぎて細くて全く代替には使えないことが明らかとなった。今回は残念でした。



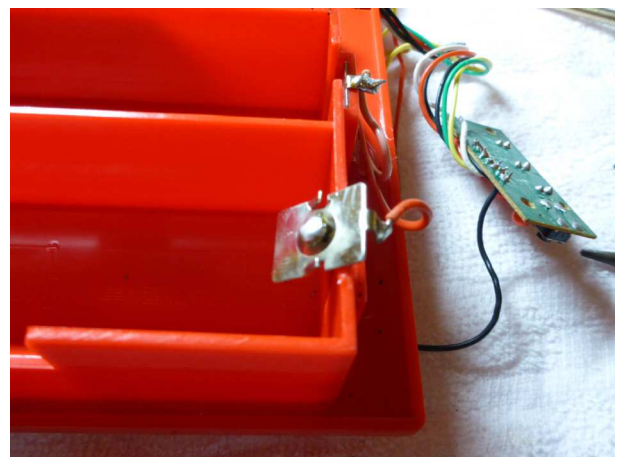
ゴムベルトとは別の不具合も発見。電池BOXのマイナス側の電極が緑色の粉を噴いていた。古い電池の液漏れによる腐食が原因で接触不良であったと思われる。



こちら(プラス)側の極板は茶色く錆びている。どちらも、きれいに汚れを落として磨き上げ、表面に薄く半田メッキをして仕上げましょう。



電池の極板の清掃を実施後、接点復活剤をスプレー。これでマイナス側の接触不良は改善された。



こちら(プラス)側の極板も、磨いた後にハンダを盛って、ピカピカになりました！！